

1.1. 北山本小学校区 八尾市の未来を語るタウンミーティング（開催日時：平成21年1月21日）での意見への対応状況

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>① (1) 清掃活動について(公園の清掃活動)</p> <p>○ 落葉の時期の公園周囲の道路の掃除について、お地蔵さんは地域の方40～50世帯ぐらいで見えておりますし、その他の公園の周囲も地域で見えていますが、毎日掃除が本当に大変です。特に雨の日は通学の子も達が雨にぬれた落葉ですべるのを何度も見ており危険です。市の方で落葉の清掃を週に何度かでも手伝っていただけませんか。</p>	<p>○ 地域で清掃していただき感謝しています。公園の清掃については、行政ですべてをすることはかなり難しいことですので、愛護団体といった地域で公園を守るという仕組みや、ボランティア等でご協力いただいています。八尾は造園業者さんも多く、造園は地場産業でもありますし、緑を大切にしていきたいということで、緑の剪定の予算について来年度、若干増やしていきたいと考えています。</p>	<p>○ 地域の皆様には大変お世話いただいております。今後は落葉清掃及び樹木の剪定の時期及び内容についても検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、地域で美化活動いただいているところについて、市と協働していけるように愛護の覚書を交換し、日常的な管理について市から清掃に必要な道具やごみ袋等の支給を行なっていますので相談して頂けたらと思います。</p>
<p>① (2) 清掃活動について(ごみ袋)</p> <p>○ 掃除をするとごみ袋もいっぱい必要です。ごみ袋がなくなると、自治振興委員を通じて市にもらいに行ってもらいますが、なかなかすんなりとごみ袋は頂けないと聞いております。</p>	<p>○ ごみ袋については、地域清掃用のごみ袋が別にありますので、出張所でもらっていただきたいと思っております。</p>	<p>○ 地域での清掃にて使用いただくごみ袋としては「地域一斉清掃用」・「公衆用」の二種類があり、必要枚数を出張所にて配布しております。</p> <p>なお、「家庭用可燃袋」につきましては、ごみ減量の観点より一回一袋排出にてお願いしたうえでの追加配布としております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>② 交通安全について</p> <p>○ 小学校のPTAをやっておりますが、一昨年に校長先生にご協力いただき、市や警察の方々と一緒に通学路の標識や危険な箇所などの点検に回らせていただきました。公園前の道路は通学路で、時間指定で自動車やバイクの通行が禁止されています。点検に回った当時は、市や警察に協力いただき、数回、取締りを行って頂きましたが、それ以後はやはり抜け道として、車やバイクがかなりのスピードで通行しています。何とか対策していただけないでしょうか。</p>	<p>○ このような件についても、いろいろところで聞いております。市から警察に対して定期的に取り締りを行っていただけるよう積極的に要望していきます。</p>	<p>○ 要望の点については、具体的な道路などを交通対策課までご連絡いただきましたら、地域の方々立会いのもとで状況確認したうえで、八尾警察署に対して取締などを要望してまいります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>③ 学校区について</p> <p>○ 北山本地区は小学校区の区分けが複雑になっています。バス通りから一本入ったところが北山本、山本小学校の校区の境となっています。また、高砂住宅と福万寺で二つの福祉委員会があります。こんな状況で催し物を行う時に弊害があります。市長はこのことについてご存知ですか。</p>	<p>○ 自治振興委員会・地区福祉委員会・民生児童委員等についてもエリアが一致していないことも認識しています。小・中学校区の適正規模等について、現在、審議会で検討していただいています。審議会の結論も平成 22 年度中には出ますので、八尾市全体の問題として議論をすすめています。</p> <p>○ 地域コミュニティをつくる上でこれを全部同じにすることが一番大切だと思っています。歴史的な経過等もありますのでどの様に区切るのがいいか地域の皆様と話していきたいと考えています。</p>	<p>○ 小・中学校については平成 20 年に「小中学校適正規模等審議会」を立ち上げ、今後の児童生徒数の推移や傾向、課題等を含めて検討を進めているところです。審議会ではよりよい教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するために、市立小・中学校の学校規模等の適正化についての基本的な考え方、および適正化の方策等について提言を行う予定です。</p>
<p>④ 福祉サービス等について</p> <p>○ 予算の使い方を見ると生活保護や児童手当等の扶助費の率が 24% と高い。八尾市は福祉に力を入れているから住みたいという人もいると聞きますが、高齢者に対する補助はどんなものがあるのですか。</p> <p>○ それだけ福祉に力を入れていると税金が高くなるのではないのでしょうか。</p>	<p>○ 高齢者に対しては、地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどの高齢者がいつでも相談できたり、サービスが受けられる仕組みがあります。現在、直営が 1 箇所、民間委託が 5 箇所ありますが、来年には民間委託を 10ヶ所に増やしたく考えています。高齢者に優しいまちづくりとい</p>	<p>○ 八尾市の高齢者福祉サービスは、大きく分けて①本人に対する在宅サービス②家族に対する支援③趣味・生きがいづくり活動④介護予防などの教室⑤認知症の人への支援など様々な事業を実施しており、介護保険と高齢福祉サービスの情報冊子を作成し配布するとともに、ホームページには</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>○ 老人会への助成金も毎年カットになっています。福祉の方は小地域ネットワークの助成金も橋下知事が全面カットすると聞いております。全面カットとなれば、子育てサロンや給食等の事業ができなくなります。現在、自治会からの助成金だけではやっていけません。大阪府は平成20年度に10%カット、平成21年度に全額カットするということでしたので、嘆願書を持って大阪府知事に要望に行きました。カットばかりでは何もできなくなるのではと危惧していますがいかがですか。</p>	<p>われませんが、介護施設、老健施設、特別養護老人ホーム等は整備されてきて八尾市は充足率が高くなってきています。これからは小規模多機能なものを増やして高齢者福祉の施策を充実させていきたいと考えています。</p> <p>○ 八尾市は税金が高いわけではありません。大阪市と比べて、例えば公共交通・水道代・国民健康保険等で高いと思われるかもしれませんが、国民健康保険は大阪府下で8番目に安く、他の市町村と比べても少し安くなっています。</p> <p>○ 高齢クラブ連合会から要望書を頂いております。現在、50人以下の小さいクラブには助成が出ていませんが、来年は助成できるよう考えています。敬老金は来年カットさせていただくが、地域でやっていただいているものに出せないか検討しています。小地域ネットワークなどについても継続できるように検討しています。</p>	<p>それぞれの事業内容を掲載しておりますのでご覧いただけたらと思います。また、適宜、市政だよりで事業内容等について広報しております。また、詳しい事業内容につきましては、高齢福祉課、地域包括支援センターへお問い合わせください。高齢者の方への情報提供はよりきめ細かい配慮が必要なことから地域の高齢者や隣人、その他民生委員・児童委員などが情報のキーパーソンとなり、市政情報やイベント情報、行政への申請や諸手続きなど必要とされる生活情報やその他の地域情報を伝達すると同時に、その理解力に応じ内容を説明するなど、情報の伝達を支援する方法について検討してまいります。</p> <p>○ 小地域ネットワークにつきましては八尾市としては、従来どおり補助金として助成してまいります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑤ 学校の耐震化について</p> <p>○ 校舎の耐震補強について、北山本小学校は新しいけど、桂中学校は古くて危ない。八尾市の耐震補強の進捗はどうなっているのですか。</p>	<p>○ 学校の耐震化については、約 20%で府下でも低い状況です。耐震診断も終わっていない状況で、計画より 1 年前倒して、平成 22 年度末までに全部の学校の耐震診断を終わらせます。耐震工事は、重点的に予算をつけていきますが、まず、避難所にもなっている体育館をすべて終わらせた後、校舎の耐震化を行う予定です。</p>	<p>○ 校舎及び体育館は、災害時における市民の避難場所でもあり、特に一次避難場所に指定されている体育館の耐震化を優先しつつ、桂中学校を含めた学校施設全体の耐震化につきましても、学校全体の耐震診断を平成 22 年度までに完了させる予定をしており、耐震補強工事につきましても、耐震診断結果及び八尾市耐震改修促進計画にもとづき、早期実施に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>⑥ (1) 八尾市の都市基盤について (渋滞)</p> <p>○ 八尾市の南北の道路が混雑しています。アリオができて土日は東西道路も混雑しています。南北の鉄道もないです。</p>	<p>○ 道路は中環・外環の 2 本の幹線道路が通っており比較的強いと言われますが、十分でないと思っています。なお、交通利便性において東西が弱いと感じています。昨年 7 月にコミバスを廃止しましたが、その後も八尾の交通体系全般について、近鉄バスと協議を行っています。また、病院等のバスについても、活用をできればと考えています。</p>	<p>○ 本市の都市計画道路は、主に昭和 44 年に都市の骨格を形成する基本的な交通基盤として都市計画決定を行い、平成 17 年において都市計画道路の見直しを行いつつ、随時、都市計画道路の整備を行ってきており、整備済率としては、平成 20 年度末現在、46.5%となっております。</p> <p>ご指摘いただいた南北・東西路線とも課題を認識しているところでありますが、今</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近鉄山本駅周辺の線路の高架化については難しいですが、エレベーターの設置を行っています。 	<p>後の未整備路線にあたっては、財政状況及び整備手法や地域の実情等をふまえて、個別路線ごとに検討し、整備効果の高い路線より整備してまいりたいと考えております。</p>
<p>⑥ (2) 八尾市の都市基盤について(恩智川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 恩智川改修はどこまで進んでいますか。下水道整備も滞っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 恩智川の改修に合わせて、川に降りれて、水生生物の観察ができるようにするなど要望もしています。恩智川については水量が少なく、もう少し水を流して欲しいと大和川河川事務所に言っています。 ○ 下水道については、平成 20 年度末で 78%できています。 ○ 福万寺地区については、市街化調整区域もあり、平成 22 年度に調整区域の見直しを行いたいと考えています。それまでに地域と色々議論していきたいと考えています。市街化調整区域が外れると道路や下水道の整備をしていきたいと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 恩智川の改修については、近鉄信貴線以北は管理者である大阪府寝屋川水系改修工営所が下流側の北から実施しており、平成 21 年 2 月現在、八尾市の新福栄橋より南側で施工中です。近鉄信貴線以南は大阪府八尾土木事務所が一部実施しております。 ○ 下水道整備については、現在、平成 22 年度末、下水道整備人口普及率 83%を目標に事業を進めており、概ね計画どおり事業進捗しています。北山本小学校区の、平成 19 年度末、整備人口普及率は 70.6%であり、市街化区域では、整備が進んでおりますが、市街化調整区域や、一部の私道で、整備ができておりません。なお、私道の整備については、「公共下水道施設設置承諾」

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		<p>を頂く事が必要であり、申請制の採用など、効率的に承諾書の取得作業を行っておりますが、ご理解とご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。</p> <p>○ 市街化調整区域の生活排水は、本市生活排水処理基本計画のとおり、公共下水道で処理することになっています、現時点では、着手時期は明記できませんが、市街化区域の整備進捗状況を見つつ、検討します。</p>
<p>⑥ (3) 八尾市の都市基盤について(学校施設耐震化)</p> <p>○ 避難所となっている体育館もボロボロでペンキも塗っていません。</p>	<p>○ 学校については体育館の耐震化を優先していきたいと考えています。</p>	<p>○ 北山本小学校体育館の外壁等の改修につきましては、学校等と協議のうえ早期実施に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>⑥ (4) 八尾市の都市基盤について(TM)</p> <p>○ タウンミーティングも一回でなく何回も開催してください。若い人の意見も出てくるのではないのでしょうか。</p>	<p>※ 当日市長の説明はございませんでした。</p>	<p>○ タウンミーティングの開催に要する準備期間等を考慮いたしますと、各地では年に1度の開催となりますが、今後も継続していく予定です。タウンミーティングの実施目的を十分に認識しながら、その実施状況を検討し、効果的な運営に努めます。沢山</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		の方にご参加頂き、活発な議論ができればと考えております。
<p>⑥ (5) 八尾市の都市基盤について (桜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 委員長が公園に 5 本桜を植えられました。もっと桜を植え、そこで春ごとを復活させたり、花見がしたいと思います。 ○ 玉串川も老木化が進んでいます。 ○ 恩智川に桜を植え、花見をしたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 桜については、補植や植替えを行っていきたいと思っています。また、大阪府と調整しながら、玉串川の護岸整備を 10 年ぐらいはかかりますが外環状線から山本駅までを最初の 5 年で、山本駅から東大阪までを後の 5 年で整備していきたいと考えています。 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 玉串川については、石積みの護岸の老朽化のため補修を要する箇所が増えてきており、今後大阪府により、護岸の改修工事を予定しております。この護岸改修工事と同時に、必要な箇所は桜の木の植替えをしていくこととなります。 ○ 全面的な植え替えにつきましては、今後地区の意見を聞かせて頂きながら、その方法を検討していきたいと考えております。 ○ 恩智川については、沿道に桜を植えるスペースがなかなか見当たらず、困難であると思われませんが、地域の要望や沿道住人の協力があれば、検討したいと思います。
<p>⑥ (6) 八尾市の都市基盤について (公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福万寺公園の整備もどのようになっていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 恩智川治水緑地公園も整備が進んできていますが、まだまだです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 恩智川治水緑地の整備については、大阪府寝屋川水系改修工営所において実施しています。全体計画 165 万㎡の内、一期工事 89 万㎡は完了していますが、現在、二

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑦ 不法投棄について</p> <p>○ 北山本小学校から第二寝屋川にかけて最近整備された道路で、不法投棄があり、市に言って撤去して頂きましたが、恩智川治水緑地側は撤去いただけるのに、田んぼ側は撤去していただけません。どうにかできないでしょうか。</p>	<p>○ 市の道路であれば、管理者として撤去はできますが、個人の田んぼのものについては地権者の管理者責任ということがあり法的にできません。放置自転車でも同じことがあります。行政的にも対応できる場所もあるかと思えます。</p>	<p>期工事の文化財調査が行われています。</p> <p>○ ご指摘の件について、現場確認を行いました。田んぼ側の不法投棄につきましては、市の管理区域となっていましたので撤去は出来ませんが、私有地については地権者で撤去して頂くこととなります。</p>
<p>⑧ 福栄橋の保存について</p> <p>○ 八尾市で最後の石の橋である福栄橋を山本町北第 2 公園に移されましたが、治水公園に移していただきたい。また、恩智川の改修のときに復元していただきたい。</p>	<p>○ 治水公園への移設について、大阪府と協議したいと思えます。また、復元についても協議できればと思えます。</p>	<p>○ 山本町北第 2 公園にある福栄橋は、明治 9 年に作られたもので、大坂の玉造と大和の竜田を結ぶ十三街道筋の恩智川に架かっていましたが、昭和 48 年の恩智川改修工事の際に付け替えられました。橋には福万寺村の人達が建てた供養碑があるため、地域と関連の深い福栄石橋を地元に残し、地域の歴史を理解してもらえればと思って、当公園に置いています。また、石橋の頃と違い、恩智川の幅員が大きくなっており、輪荷重の検討からも、石橋の復元は施工的に難しいと思われれます。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑨ 市議会議員の定数について</p> <p>○ 八尾市の支出を減らすために市議会議員の定数を減らして欲しい。人口 27 万人なら 28 名でいいのでは。32 人から 28 人にできないでしょうか。</p>	<p>○ 八尾市などの地方自治体は、市長や市議会議員が市民に直接選ばれる二元代表制になっています。議員の定数については市議会で決めることとなっています。地方自治法では八尾市は最大で 38 人までとなっています。過去から八尾市は 36 人、34 人、32 人へと減ってきた経過もあります。</p>	<p>○ 現在、地方議会に対しては、行政に対する監視力の強化や、より広範な市民意見の市政への反映などが期待されている中、議員定数については、地方自治法において議員定数の上限が定められており、八尾市の人口規模の場合 38 人となっています。</p> <p>一方で、現在、議員定数削減等による経費削減効果も求められており、八尾市議会については、こうした流れを受け、市議会みずからが議会構成等調査特別委員会などを設置して検討が行われてきました。近年では議員定数を 34 人から 32 人に減じる条例が可決され、平成 19 年の一般選挙から新しい定数が適用されています。</p>
<p>⑩ 学力公表について</p> <p>○ 未来を担う子どもの学力が大事だと思います。北山本小学校や桂中学校において、クラスの半数程度が中国人の生徒となっているクラスがあります。言葉の問題もあり、どうしても中国人の生徒優先の授業に</p>	<p>○ 桂中学校は府下平均より高いです※。大阪府知事と大阪府下の若手の市長たちと学力調査の公表について対談したとき、公表しないから予算をつけないということではなく、学力のしんどいところに予算をつ</p>	<p>○ 北山本小学校・桂中学校をはじめ、八尾市の公立学校では、すべての子どもたちの学力を向上させるために、少人数学習や補充学習等に取り組んでいます。現在、八尾市の公立学校には、韓国・朝鮮をはじめ、中国</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>なっているように感じられます。生徒は学力を塾に頼っているところが多いと思います。教育委員会には、生徒を平等に扱ってほしいと思います。</p> <p>○ 大阪府がいつている学力公表についてどう思われますか。</p>	<p>けるように話をしました。全体で子ども達を支える教育委員会でなくてはならないと思います。また、すべての生徒に平等に教育を行っていると思います。八尾には約7,100人の外国人が住んでおられます。言葉の壁は行政文書の送付や医療機関などで問題も起こっています。生活支援という点では、通訳を配置しコミュニケーションの充実を図っています。八尾市のホームページも来年度に一新し、中国語・英語・ベトナム語などにも対応できるものとしていきます。</p> <p>○ 八尾市の学力公表については学校区の状況なども勘案した中身としております。大阪府下の中でも進んだものになっていると考えています。</p> <p>※正しくは【八尾市の学力の平均は、府下平均よりも高いです。】でした。お詫びして訂正させていただきます。</p>	<p>やベトナムなど様々な国籍の児童が在籍しており、北山本小学校には全学年で2割弱、桂中学校には全学年で1割程度の中国帰国児童・生徒が在籍しています。これらの学校では、文化や生活、言語など交流を通して、理解し合う中で、互いの立場を尊重するなど、国際理解教育につながる豊かな学びを展開しています。また、渡日間もない児童・生徒の中には、日本語を話すこと書くことが困難な児童・生徒もおり、中国語の通訳等を派遣し、学習の支援をおこなっています。</p> <p>○ 平成20年度実施分につきましては、市ホームページや市政だより等で公表しておりますが、八尾市全体の学力向上を図るために調査結果を分析・活用し、今後の教育実践につなげていきたいと考えております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑪ 町内会への加入について</p> <p>○ 最近町内会に入らない人が多いが、市は把握していますか。</p>	<p>○ 町会に入らない方が増えていることは把握していますし、他の地域からも同じことを聞いています。役員になりたくないとか、町会費を払いたくないということもあると思います。ごみ袋・市政だよりを市で配らないでほしい等の意見もあります。地域のコミュニケーションを高めていく努力を自治振興委員とも話し合って頑張っていきたいと思います。</p>	<p>○ 町会への加入率につきましては、全国的に減少傾向にありますが、この傾向に歯止めをかけるためには、町会組織の必要性を啓発するとともに、町会活動が魅力と活力あるものになることが不可欠の要素であると考えていますので、個々の町会からのご相談に応じるほか、市として加入率の向上に向けた取り組みを進めるなど、町会の活性化に協力していきたいと考えております。</p>

地域の活動について

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑫ 小地域ネットワークについて</p> <p>○ 小地域ネットワークは通常、地区福祉委員会からの要望で作っていることが多いが、北山本小学校区ではボランティアで作っている。</p>	<p>○ 小地域ネットワークを頑張っていたいており、マンパワーは地域では欠かせないものになっていると感謝しています。厳しい財政状況ではありますが、予算をつけていけるよう頑張っていきたい。</p>	<p>○ 市内の小地域ネットワーク活動は地区福祉委員会を構成する団体が役割分担をして推進していただいている場合が多くなっております。地域の自発的なボランティアにも参加いただけるような組織に育て</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		ていくことが必要と考えています。